

文芸 さくらがわ

俳句

〔桜川市岩瀬「秋」俳句会〕

喉見せて鳥も喘ぐ大暑かな

小林 啓治

山に雲妻の夏帽捨て難く

荻原 勅彦

純白とは花櫃の今朝のいろ

三代 みちよ

朝露を受けてむくげの花咲けり

入山 ひろ子

蝉声を聞かぬ日ばかり山を見る

若色 寿美女

柿の花咲いて母似の姉思ふ

金田 とう女

つながらぬ受話器もつ掌に汗にじむ

永瀬 ちい

汗の子を抱き留めており汗の父

細谷 充女

椎瘤のまだみづみづし蝉生る

萩原 きしの

〔茂山俳句会〕

夏草を刈りて水音聞近にす

松崎 いま

夏草や復元窯の試し焚き

海老沢 静夫

少年の泣いたグラウンド雲の峰

鈴木 ノブ子

団扇の手止めて小さき寝息聞く

宮本 芳江

逆上がりする児に湧けり夏の雲

君島真理子

梅漬けて機嫌を覗く糞の中

今井 繁子

蟻地獄原子炉もまた稼働せり

植田 祥雲

老いてなほ山車に手を貸す祭かな

海老沢 幸子

真っ直ぐな灯り花圃まで夜の秋

吉原 秀子

祭りの灯消えて静けし夜の秋

笠倉 陽子

菜園に行く楽しみやあさまだき

大関 くに

夜の秋金子みすずの詩を読む

竹林 てる

数珠玉の少女期はるか友もまた

吉原 京子

七夕に迷いし亀と二十年

金子 弘毅

組板の白く乾きて鯛雲

田崎 信子

黒猫の目玉のよぎる油照

飯山 昭

短歌

〔やまと早蕨歌会〕

朝夕は涼しく夜は虫の声上弦の月にころや

榎戸 栄子

川岸の温積算の六百にしづ心なく花の散るら

木藤 とみ

コスモスの咲きみだれいし裏山に台風去りて

佐藤 悦子

陽はやわらかに

田中 きみ

道行けばさわさわと呼ぶ稲穂風実りの秋をの

田中 きみ

せてささやく

俚謡

〔さくら俚謡会〕

今宵満月お供い物の少し大きめ芋を喰う

一木 みどり

月下美人と運命は同じ咲いてうれしい一夜花

つく志輝美

ぼうじぼつくり藁筒叩き子等が月見の村めぐ

岩瀬 きみ子

日傘におんなの想いを閉じてわかれ言葉は胸

稲葉 建正

俺も好かれりや悪気はしない背中離れぬ赤と

田 哲人

んぼ

■お詫びと訂正

前月号の中に誤りがありました。お詫びし
て訂正します。

〔天和俳句愛好会〕

盆 自宅ははの手順に従えり 鈴木 つぎ

盆 盆支度ははの手順に従えり 鈴木 つぎ

高台の観音様の窓ごしにスカイツリーがべん
先に見ゆ 中原 すみ子

山独活の花実を斜めにふかく射す陽ざしはい
つか秋を連れくる 中島 龍子

厨窓あけるや鳩の鳴く声に運ばれて来し朝を
迎える 北条 正子

かけ足で林の中を行く少年「カブト虫の木を
見てくれ」と言う 皆川 米子

桜川市公式ホームページ有料広告募集!

桜川市では10月1日より、公式ホームページに有料広告の掲載を開始します。

- 規 格 バナー広告 60×160 ピクセル (静止画のみ)
- 掲載位置 桜川市公式ホームページ トップページ最下段
- 掲 載 料 月額 3,000 円 (6 か月間連続 15,000 円 12 か月間連続 30,000 円)

※詳しくは、桜川市公式ホームページでご確認ください。 <http://www.city.sakuragawa.lg.jp>

■問合先 情報政策課 ☎58-5111・75-3111、内線 1232